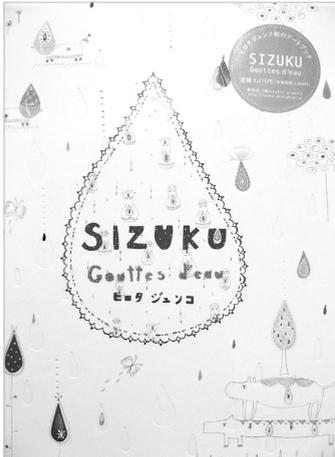


四季を感じるアートブック「SIZUKU ～Goutte d'eau～」

準会員 廣田純子さん スカイフィッシュグラフィックスから出版



どこからともなくやってきて 包み込んでくれるSIZUKU
まわりにはいつもいろんなSIZUKUが飛んでいて ふとした時に気づく。
あなたは今日どんなSIZUKUに出会いましたか？
この本を開く度に違うSIZUKUに出会ってほしい。 気づいてほしい。
そんな思いを込めて。 <http://www.hitane.com>

原画展予定

1 / 7 ~ 21	静岡	cielo azul material
1 / 27 ~ 2 / 12	熊本	orange
2 / 25 ~ 3 / 9	仙台	カフェサンルウ
3 / 15 ~ 20	東京	吉祥寺 にじ画廊
3 / 29 ~ 4 / 15	大阪	ジュンク堂書店大阪本店
3 / 29 ~ 4 / 10	神戸	TORITON CAFE
4 / 20 ~ 5 / 6	名古屋	Cache 熱田店
6 / 6 ~ 24	長崎	ORENGE SPAICE

産地企業のデザインへの挑戦

準会員 梶原加奈子さん

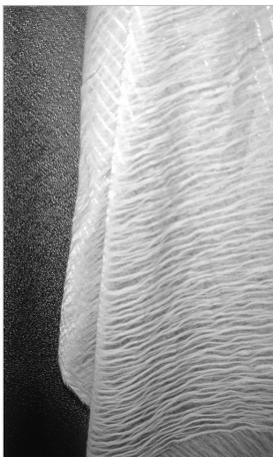
産地企業が欧米輸出に乗り出すために、デザインを取り入れた商品開発に力を入れ始め、07/08秋冬向けから、尾州のいわなかと播州の丸萬商店が、テキスタイルデザイナーの梶原加奈子さんを起用し、9月のプルミエール・ヴィジョンのいわなかブースでコレクションを発表した。注目されたデザインは、丸編ジャガードのレイヤージャージーで、会場の最新デザインコーナーに飾られ、モード誌が次々と取材に訪れた。また、播州のクラッシュ加工にも関心が集まった。機械による織りなのに、手織りのよう

な柔らかい雰囲気を作り出す新しい方法と評価された。

トップブランドのバイヤーからは、シルクウールや高密度のコットン100%の生地など、産地オリジナルの無地企画も人気が高く、展示会でサンプル発注を決めるバイヤーも少なくなかった。いわなかの岩田昌憲部長は、ビジネスはこれからだけどデザインの反応は予想以上だったと振り返り、デザイナーの梶原さんは、今後も各産地の持つ技術とデザインを融合し、世界に日本テキスタイルをアピールしたいと語った。



レイヤージャージー



クラッシュ